

目次

第1章 安全衛生責任者の選任と職務	1
1. 安全衛生責任者の選任	1
2. 安全衛生責任者の職務 ……キーワードは連絡・調整・確認・管理	2
(1) 安全衛生責任者の職務（安衛則第19条）	2
(2) 安全衛生責任者の役割	2
3. 事業者責任 ……労働災害の発生と企業と人の責任	3
(1) 刑事責任 労働安全衛生法と刑法 両罰規程	3
(2) 民事責任 民法 民事訴訟法	4
(3) 行政責任 建設業法第28条	5
(4) 社会的責任	5
第2章 安全衛生管理の進め方	7
1. 安全衛生管理計画（本社・支社・支店）	7
(1) 方針	7
(2) 目的	7
(3) 日常の安全行事、活動の計画（月間及び年間）	7
2. 現場の安全衛生管理計画	8
(1) 具体的な労働災害防止対策重点事項	8
3. 作業手順の定め方	9
(1) 作業手順とは	10
(2) 作業手順の重要性	10
(3) 作業手順（書）とリスクアセスメント	10
(4) 作業手順（書）の作成フロー図	11
第3章 安全施工サイクル ……一日、週間、月間	13
1. 元請と協力会社（専門工事業者）の安全施工サイクル	13
(1) 朝礼・・・朝礼の役割	14
(2) 安全ミーティング（TBM）の効果があがる実践活動	16
(3) 危険予知（KY）、現場・現地作業KY（GSKY）	17
2. 安全施工打合せ会議	18
(1) 安全打合せ会議の目的と内容	18
(2) 安全打合せ会議の要領	18
第4章 日常の自主安全管理	19
1. 安全教育の重要性	19
(1) 新規入場時教育	19
(2) 雇入時教育について	20
(3) 送り出し教育	21
(4) 作業内容変更時の教育	24

(5) 労働者の就労にあたって（就業制限業務・作業主任者一覧表）	24
2. ヒヤリ・ハット運動	30
(1) ハインリッヒの法則	30
(2) ヒヤリ・ハット運動の継続	30
3. 職長会……自主管理の意義	31
(1) 職長会のメリット	31
●建設廃棄物と分別	32
第5章 作業中における監督指示の方法	33
1. 監督および指示とは	33
(1) 監督の方法	33
(2) 指示の方法	33
(3) 指示の仕方	34
(4) 人の扱い方	34
第6章 作業設備の安全化	35
1. 作業設備の安全化	35
(1) 設備・機械の本質安全化とは	35
(2) 安全化への指向	35
(3) 設備・機械安全化のための基本事項	37
(4) 設備・機械安全化の要点	37
2. 安全衛生のための点検	38
(1) 安全衛生点検とは	38
(2) 種類	38
(3) 安全衛生点検の方法	39
(4) 環境条件の保持	41
第7章 異常時における措置	42
1. 不安全行動と不安全な状態	42
(1) 不安全な状態	42
(2) 不安全な行動面	42
(3) 異常とは	43
(4) 考えられる欠陥	43
(5) 異常事態の主な例	43
(6) 安全衛生責任者としての措置	44
2. 災害発生時における措置	45
(1) 緊急時の対応	45
(2) 災害が発生したときの具体的な処置方法	45
(3) 災害事例研究はなぜ必要か	46